

学校安全・防災だより

令和8年9月25日（金）

保健体育安全課発行【第6号】



学校安全教育指導者研修会を開催しました

今月、5つの各教育事務所を会場に、「教員の安全を含めた学校安全の在り方」についての学校安全教育指導者研修会を開催しました。

講師を務めていただいた宮城教育大学の林田由那先生からは、「防火・防災体制の確認」と、「クマへの対応」、「不審者対応」の3点についてご講話いただきました。

クマ対策グッズや不審者対策のグッズもご紹介いただき、実際に手に取って確認することができました。

後半は、各学校の取組状況について、危機管理マニュアルを持ち寄って情報交換しながら見直しを行うなど、充実した協議が行われました。

<参加された先生方の感想>

○ 各園の取り組んでいることや、やり方、考え方、今の課題などを共有することができたことが良かったです。不審者への対応策はいつも課題が多いので、各園でやっていることを参考にし、更に対策を考えていきたいと思いました。こういった話し合いができたことが良かったです。

○ 有事に備えて、実践に結びつくような訓練を実施することの大切さや、様々な状況や場面を想定して、どのように行動するのか、どのように対策するのかを日常生活の中で常に考えておくことが、命を守るためにとても重要であることを学ぶことができました。また、事前に避難器具や護身道具などの使用方法を確認したり、実際に触って使ってみたりすることで、実践時により迅速に対応ができるようになるというお話があり、訓練の中で扱う機会などを作っていく必要性を感じました。

いつでも、誰もが、どの役割をも担えるよう、職員間で有事に備えた対策を周知し合い、有事が起きた時には迅速に対応できるようにしていきたいです。

○ 高校や特別支援学校など、それぞれの地域事情や児童、生徒の特性などそれぞれの状況に合わせた危機管理マニュアルの作成、改訂や日頃の訓練などの重要性を再確認できました。今まではこうだった、前の学校はこうだった、ということではなく、常に新しい知識を入れながらブラッシュアップしていきたいと思えた情報共有の時間でした。



対策グッズに触れながらの協議（情報交換）



ネットランチャーを使用した実演講義

秋の全国交通安全運動実施中

—令和8年9月21日（月）から9月30日（水）まで—



9月30日(水)は『交通事故死ゼロを目指す日』です

【交通安全運動の重点（全国重点）】

- (1) 〈歩行者〉歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進
- (2) 〈自動車〉夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
- (3) 〈自転車〉自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

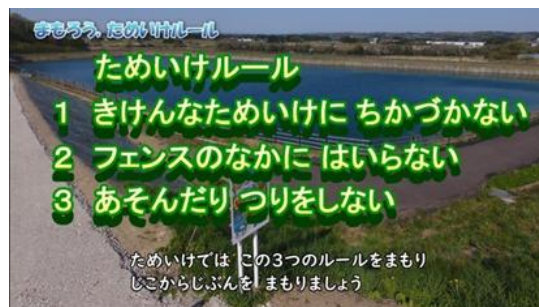


水難事故の防止にご活用ください

ため池や水路での水難事故を防止するために、各学校においては、保護者と連携するなど児童生徒等への注意喚起を行っています。

宮城県農政部では、ため池事故防止・注意喚起動画を制作し、YouTube チャンネルに掲載しています。下記URL又は右QRコードから視聴可能です。

<https://www.youtube.com/watch?v=EW0n3A5U6wU>



秋の行楽シーズン…クマの出没に要注意！



人間にとって秋の行楽シーズンは、クマにとっては冬眠前の脂肪を蓄える時期でもあり、多くのエサを求めて、人里におりてくることもあります。クマ鈴やラジオを鳴らす、多人数で行動する等ツキノワグマと遭遇しにくい対策をとり、引き続き注意して行動しましょう。